

教育・文化

子どもの発達に応じた情報交換体制をつくらないか

華表 暁議員(共産) ①情緒

②気になる児童の数は、幼稚園等と小学校との連携は、

③都内で幼稚園等と小学校との連携を図っている自治体は、

またどのような工夫があるか。

教育長 ①都が平成15年度に行った調査によると、知的発達に

おくれはないものの学習面や行動面で著しい困難を示すと思

われる児童・生徒は、市立小・中学校においてそれぞれ約4・5

%と約1・7%であった。

②小学校から幼稚園等に教員が赴き、園児の様子を観察する

取り組み等が行われている。

③狛江市やあきる野市では、幼稚園等での子どもの様子や指導の実績・経過等を学校に引き

継いで活用している。記入事項等は、保護者の確認を得るなどの工夫をしていると聞いている。

多文化共生と外国籍児童・生徒への支援について

岩本博子議員(緑ネ) ①外国籍児童・生徒の現状とニーズを把握するために、実態調査が必要

では、

②日本語の指導期間が不十分なので拡充できないか。

③小・中学校と国際交流協会との連携が必要ではないか。

教育長 ①日本語指導が必要な児童・生徒の受け入れ状況は把握している。ニーズは、保護者

からの申し出等により個別に把握している。改めて実態調査をする考えはない。

②校長との協議により必要に応じて指導期間を延長している

ので、拡充する考えはない。

③日本語指導講師や総合的な学習の時間における外部講師に

ついて、情報提供を依頼したことがある。今後、条件が合えば

国際理解教育の推進のため、交流する可能性もある。

フイティ・フイティの活用で学校の省エネと環境教育を

苗村洋子議員(緑ネ) ①エネ

ルギービジョン策定に当たり、バックキャストの考え方も

必要だが、現時点での考えは、

②小・中学校における省エネの取り組みと展望は、

③環境教育と一体で手を上げた学校からフイティ・フイティに取り組み、情報を学校全体で共有していけば効果も期待

できると考えるがどうか。

教育長 ①バックキャストの考え方も取り入れながら環境問題の研究をしていきたい。

②全校のプールで水を循環利用し、小学校5校でトイレ洗浄に雨水を再利用しているが、今後の計画は未定である。

③環境教育の意識づけに有効であり、自治体経費を節減し、地球温暖化防止にも貢献する取り組みである。削減した金額の還元については、市の予算全体の中で考えていくことになる。

※フイティ・フイティとはドイツで始まったプログラムで、公立小・中学校において生徒や教職員が協力して省エネ活動を行い、節減できた光熱水費をすべて自治体に戻すのではなく、半分はその学校に還元する仕組みのこと。

※バックキャストとは望ましい将来像を描き、それを将来のある時期までに実現するため段階的な経路を検討する考え方のこと。

小・中学校の入学式等で内心の自由が尊重されるように改善を

西 克彦議員(共産) ①市長は内心の自由を尊重する立場から、日の丸、君が代の強制は行わないとの見解を示してほしい

がどうか。

②小・中学校入学式の教育委員会告辞で、君が代を歌うのがルールなどといった発言があった。市民から疑問の声が出ているが改善すべきではないか。

③招待しない議員が来ては困る、起立せず歌わない議員は迷惑というのが校長会の総意であるということに対する見解は、

市長 ①個人の内心にまで立ち入り強制されるべきではないという思いは、私も尊重したい。

教育長 ②告辞の内容は統一しているが、式当日の状況により、出席者によっては多少文言をアレンジすることもある。今後は内容等に大きな差が生じないように徹底していきたい。

③市議会議員は市民の代表であることから、出席されることを前提として連絡をしている。式典に来賓や保護者が出席する際の対応は、校長の責任でお願いしているが、出席者の内心の自由を尊重することは今後も確認していきたい。なお、指摘された件については、校長会の総意ではない。

市の障がい者・児、障がい傾向者・児の施策を問う

齊藤 進議員(フオ) ①早期発見・療育の観点から、教育的ニーズを保護者と一緒に考える

べきでは。

②ディスレクシアの子どもへの教育支援は、

③温かみのある就学相談を行えないか。

④サービス利用時の負担に対し、独自の軽減ができないか。

教育長 ①学校、保護者、関係機関との連絡を密にし、特別な教育的支援を要する児童・生徒への対応策を検討したい。

青梅街道駅東側通路の整備と防犯対策について

原 邦彦議員(公明) ①西武

鉄道との協議状況は、

②駅前にはふさわしい通路に整備すべきと考えるがどうか。

③通路に面した自転車駐車場の整備方針は、

④駅舎の建てかえについて鉄道事業者と協議する考えは、

市長 ①この通路には排水路が敷設されており、排水路との一体的整備は考えていないと聞いている。利用者の安全性の向上を図るため、引き続き協議を行

道路

道路を占有する広告物等の取り扱いは適切か

常松大介議員(緑ネ) ①市が許可している道路占有物の種類と数は、

②無許可の道路占有物を確認した場合の対処は、

③市道における無許可占有物の実態をどう把握しているか。

④占有物には占有料がかかるという認識が、市民に周知されているか。

⑤法令上適用される規制は、



青梅街道駅の東側通路

未申請の占有物を多数確認したため、今後も調査を継続したい。

④十分に知られていない状況があることから、市報やホームページのほか、商店街等へのPRを通して周知していく。

⑤道路法に基づき、看板の下端から路面までの高さや道路境界線からの突き出し等について規制がある。

緑川通り、萩山通りを安全で便利な通りに

佐藤 充議員(共産) ①まちづくりから見た、緑川通りと萩山通りの位置づけは、

②緑川通りの西武多摩湖線と国分寺線に、歩行者と自転車用の踏切を設置してほしいとの要望があるがどう実現を図るか。

③安全対策の面から、萩山通りの歩道拡幅ができないか。

④萩山通りと緑川通りの交差点に信号機が必要では、

市長 ①都市計画道路と生活道路を結ぶ道路で、沿道施設等への円滑なアクセスや良好な生活空間を形成し、幹線道路を補助する道路と位置づけられる。

②設置については規制や費用等から困難と考える。

③歩行者などの安全性を確保するため、快適歩道実現事業による改善を検討している。

④信号を設置するよう交通管理者に要望していきたい。

放置自転車の実情と対策について

宮崎照夫議員(政和) ①主要駅での放置自転車の状況は、

②自転車駐車を経営している民間事業者が整備費用を助成することはできないか。

③自転車駐車場は指定管理者により管理されているが、効果とその成果は、

市長 ①自転車等放置禁止の取り組みが市民に浸透したことなどにより、平成13年と17年の調査の結果を比べると大幅に減少している。

②民間事業者に貢献してもらえないような支援策を研究していきたい。

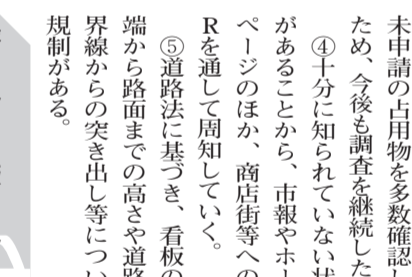
③平成17年に制度を導入した自転車駐車場は経費削減効果や利用率向上等の成果があった。

地域コミュニティ再生へ向け生活道路の役割の見直しを

橋本久雄議員(緑ネ) ①市内にコミュニティ道路はどのくらいあるか。

②生活道路の整備に、コミュニティ道路や行きどまり道路等を取り入れることは考えられないか。

③市道第B150号線と開発道路の南端とを接続させなかった場合、法律違反になるのか。



放置自転車(鷹の台駅前)

花小金井駅南、及び花小金井駅東有料自転車駐車場のサービス状況はどうか。

④車いすの駐車が可能な自治体はあるのか。

市長 ①小平市自転車等の放置防止に関する条例に基づき、自転車と原動機付自転車を対象に自転車駐車場を設置していることから現在は考えていない。

②指定管理者の工夫により、利用者の視点に立ったサービスの改善は可能と考える。

③市民に声かけを行うなど親切で親しまれる施設づくりに取り組み、施設案内のチラシを配るなどの工夫を行っている。花小金井駅南有料自転車駐車場で、昨年4月からの1年間で利用率が約3%向上した。

④多摩地域ではない。

あかしあ通りを桜並木にする

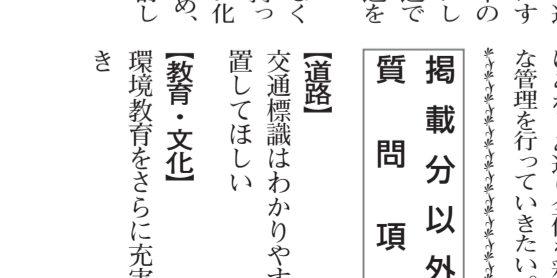
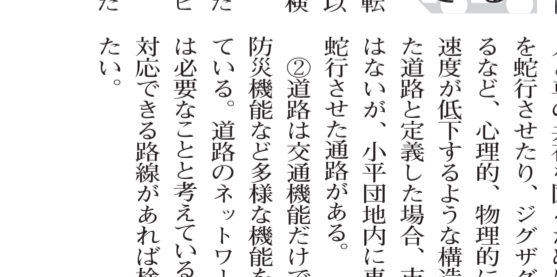
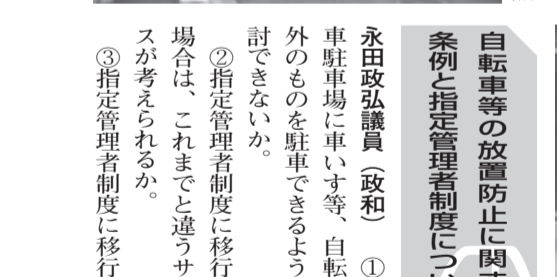
浅倉成樹議員(公明) あかしあ通りにソメイヨシノを植えて、小平市のシンボルとなる桜並木をつくることを提案する。桜並木にすることによって、小平市を公園都市として位置づけることも可能となり、グリーンロードの活性化にも貢献すると思われるがどうか。

市長 あかしあ通りには約380本のニセアカシアがあり、市民に潤いを与えている。樹木に名称プレートを取りつけたり、一部の区間で花をつけるような剪定を行い、白い房状の花が咲いたことで、この樹木について、少しずつ市民の理解を得ている。桜のような華やかさはないが、今後も清楚な美しさを持つニセアカシアの花が、毎年5月中旬にあかしあ通り全体を彩るような管理を行っていきたい。

掲載分以外の質問項目

【道路】交通標識はわかりやすく設置してほしい

【教育・文化】環境教育をさらに充実させる



一般質問